



開院10周年に際して想うこと

大分循環器病院
院長

あきみつ ただふみ
秋満 忠郁

当院は今年の春におかげさまで開院10周年を迎えることができました。この日を無事に迎えることができましたのは、当院を支え続けてくれた医師をはじめとするスタッフの皆さん、応援していただいている近隣医療機関や地域の実地医家の先生方、様々な関係者の皆様、そして当院を信頼して受診していただいている患者さん、皆様方のおかげだと想います。感謝の思いでいっぱいです。

この10年間は全力で走ってきたという思いがあるので、今でこそ振り返ってみるとあっという間だったようにも思いますが、順風満帆というわけではなく試練の連続でした。だからこそ皆様のご支援の有難さが一層身にしみる次第です。

思えばその最初は11年前にさかのぼります。当時私は44歳で、医師になって20年目になっていました。虚血性心臓病に対する心臓カテーテル治療を専門とし、「狭心症や心筋梗塞の患者さんに対して最善のカテーテル治療を提供したい」、「大分で一番上手なカテーテル治療医になりたい」と昼夜頑張っている一人の循環器医師であり、当院の前身である旧病院においては大学病院から派遣されている一勤務医に過ぎませんでした。そして他の病院への異動の話が出ていた頃でもあります。その私に旧病院の経営不振を理由に病院事業継承の話が持ち掛けられました。その当時約120名の職員がいましたが、彼らの仕事や生活を守らなければならないという責任の重さや、自分の人生の中で今まで想像しなかったような借金を背負うことに正直すごく悩みました。ただ若い頃から「大分に全国レベルの循環器専門病院を作りたい」という夢を抱いていましたし、生まれ育った大分のために、そして循環器科や心臓カテーテル治療を志す大分の後輩医師のために何かできることはないかとも考えました。その時の年齢を考えたとき実働でバリバリ仕事ができるのもあと15年くらいであり、自分の理想の循環器専門病院を創るために残りの医師人生をかけて、もし失敗しても悔いはないと思い最終的にこのお話を受ける決断を致しました。そして平成20年3月に当病院は『大分循環器病院』として再スタート致しました。ただそういう経営状況であったため、医師をはじめスタッフが残ってくれるかとても心配でしたが、ほとんどの方が残って下さり一緒に頑張ってくれました。本当に感謝です。

ただ私は凡人ですから何か目標がないと頑張れません。旧病院はまだ築14年ほどしか経過しておらず老朽化していたわけではないのですが、元々循環器専門病院として建設されていなかったため心臓カテーテル室をはじめ各部署が狭隘であり、診療を取りまく環境や設備は循環器専門病院としては不十分であると痛切に感じており、また病室もとても狭く入院患者さんには本当に申し訳なく感じておりました。そこで大きな借金を背負ったばかりなのにも関わらず無謀にも新病院への移転を最初の目標に決めました。この時点ではこの話を職員や周りの人達にしても誰も信じてはいなかったと想います。

病院継承後数年間は本当に我ながらよく働いたと思います。当時、旧病院は心臓カテーテル室が一部屋しかなかったため、患者さんにもご迷惑をおかけしましたが夜中まで心臓カテーテル検査・治療を行っており帰宅するのはいつも夜中でした。よく倒れなかったものだと思います。もちろん全科の先生方も一生懸命に取り組んで頂きましたし、とりわけ循環器科の若い先生達は大分が一番忙しいと言われ

る当院の循環器科で寝る間も惜しんで私よりさらに頑張ってくれました。これもまた本当に感謝です。

そのおかげでわずか3年後には病院の経営も安定し、まだまだ負債は残ってはいましたが5年目くらいから新病院への移転を具体的に構想することができるようになりました。自分は本当に運が良いのだと思いますが、そこからは歯車が急に回り出したように目まぐるしく事が運び、銀行の融資決定、土地の取得、病院の設計、そして新病院建設（建設工事には約1年半かかっています）と進み、平成27年5月に現在の病院に無事に移転することが出来ました。新病院の建設・移転に際しては大勢の関係業種の方々に本当にお世話になりました。なかでも私が新病院建設に際し一番難関だと思っていたのが銀行からの新規の融資だったのですが、当院のメインバンクである伊予銀行さんは「大分に良い循環器専門病院を作りたい」という私の思いに真摯に向き合ってくれ下さり、まだ多額の負債が残っていたにも関わらず当院の将来性に対して最終的に新たな融資を決断してくれました。関係者の皆様方にこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。

この10年間当院はゆっくりとではありますが着実に進んでまいりました。

- ① これまでに19000例を超える心臓カテーテル検査、5000例を超える心臓カテーテル治療を施行。
- ② 当初は循環器科・整形外科・消化器科で再スタート致しましたが、心臓血管外科・腎臓内科及び透析科・麻酔科を新たに開設。心臓及び大血管の手術を開始し、また透析室も増床、さらに各科が有機的に連携し患者さんの診療に取り組んでいます。
- ③ 救急医療機関の認定を受けて、さらに積極的に地域の救急医療活動へ参画しています。
- ④ 各部門の機能やサービスを充実させるために職員数を大幅に増員しました（120名→170名）。

等々です。そして私がこれまで頑張ってきたことに良かったなと思うことは、当院で研鑽を積んだ若手の先生方が皆さん素晴らしく成長し、今や大分県内の各地域の病院で循環器科部長として、また心臓カテーテル室の中心人物として大活躍し、それぞれの地域で心臓血管病と闘っていることです。私もまだまだ彼らに負けられないという気持ちになります。

開院10周年に際して想うことはまだまだ尽きませんが、誌面の関係上これくらいにしたいと思います。できれば次の20周年までは現役でいられたらと思いますが、いずれにしろ次の10年間は私にとってこの病院の仕上げをする期間だと思っています。今後の10年で日本は未曾有の超高齢化社会に突入し医療を取り巻く情勢・環境は激変することが予想されます。当院はまだまだ発展途上であり、この大分循環器病院がその荒波の中で急性期の専門病院として生き残り、かつさらに充実・発展するために各診療科・各部門を半端でなく鍛え上げていく覚悟を新たにしています。また病院としてはより公的な意義を持つべく社会医療法人への移行を目指します。そして後継者の育成です。大分の循環器診療を第一人者として牽引するくらいの気概を持った後継者を育成し、後を託すことができればと考えています。

最後になりますが、今後も地域の皆様から信頼される病院・地域の健康を守ることに貢献できる病院を目指して、職員一同が一層の努力をする所存ですので、今後とも変わりなき御指導・御鞭撻を頂きますようよろしくお願い申し上げます。



レーザー治療始めました

心臓血管外科 おかもと たかし
岡元 崇

今年から、**下肢静脈瘤に対するレーザー治療（血管内焼灼術）**を開始しました。

従来の、足の付け根と膝内側の2ヶ所を切開し静脈を抜き取る「ストリッピング術」と違い、細い管（カテーテル）を静脈の中に入れて治療をする為、刺し傷（1～2mm程度）だけで済み、皮膚を切らずに行う体に優しい治療です。そのため、心身に負担が少なく治療後は快適に過ごすことができます。

また、膝下や向こうずねの表在静脈瘤に対しては、特殊な器具を用いて2mm程度の傷で静脈瘤を摘出する治療法があります。この治療法は、傷痕も残りにくく痛みも少ないとされ、レーザー治療と組み合わせることで、より効果的な治療を受けて頂くことができます。

足がつる・皮膚が黒ずむ・血管がポコポコと膨れているなどの症状でお困りの方、お気軽にご相談下さい。専門医がお一人お一人の症状に合った最適な治療法を提案させていただきます。



新任ドクター紹介

- ①モットー ②趣味 ③座右の銘 ④今、一番したいこと
⑤医師になった理由 ⑥もし、医師になっていなかったら…
⑦患者様へ向けて一言



まる お けいいちろう
循環器内科 **丸尾 啓一郎**

- ①患者さん第一 ②ランニング ③千里の道も一歩から
④沢木耕太郎の『深夜特急』の様な旅
⑤人を助けて、そして自分も学び成長できるから。
⑥旅行と飛行機が好きなので、パイロットや空港関係の仕事に憧れます。
⑦患者さんとともに歩いていこうと思っています。どうぞよろしくお願いします。



外来部門紹介

つるはら ようこ
師長 鶴原 陽子

皆様が来院され、受付を済ませた後に出会うのが、私たち外来看護師です。

大分循環器病院の外来では、13名の看護師と1名の看護助手が様々な疾患や不安をお持ちの患者さんの思いをしっかりと捉え、適切な医療・治療のもと患者さんの良き相談相手になれるよう笑顔の対応を心掛けています。

入院とは違い、限られた時間の中で初対面の患者さんとも良好な信頼関係を築けるように日々努力を重ねています。また、診察が終わって患者さんがご自宅に帰った後も、不安なく日常生活が送られるようお一人、お一人に寄り添った看護をめざしています。

診察の前後で何か困ったことや、医師には聞きづらいことなどございましたら、お気軽にお声かけください。



オクラ

オクラの原産地はアフリカ。エジプトでは紀元前から栽培されていたといわれていますが、日本に入ってきたのは明治以後のことです。更に食用として出回るようになったのは昭和に入ってから。意外に新しい野菜なのです。

オクラというとあのネバネバが思い起こされますが、ネバネバの正体はペクチンとムチン。ペクチンは水溶性の食物繊維で、血中のコレステロール値や血糖値を下げる働きがあります。多糖類のひとつであるムチンは、胃の粘膜を保護してお腹の調子を整えたり、タンパク質の吸収を助けたりする働きがあるといわれています。

オクラは和え物やサラダにしたり、煮物、焼き物といろいろな料理に使えます。

また、輪切りにすると断面の星型が可愛らしく、料理の上に飾るだけでパツと華やかな印象になります。

オクラは夏の野菜。国産のものは6～8月に旬を迎えます。今年の夏は様々な料理にオクラを取り入れてみて下さい。



ポイント

表面の産毛が
気になる方は、
使う前に塩でこすると口当
たりが良く、色も鮮やかに
なりますよ！



新人オリエンテーションを行いました



今年度、7名の職員が新たに入職致しました。病院の概要を知ってもらうため、入職当日に全職種合同のオリエンテーションを行っています。当院は、中途入職者もいますので、年に1度この機会に中途採用の職員も参加します。早く、患者さんから信頼される医療職になれるよう努力して参りますので、宜しくお願い致します。

それから
1週間…

まだ不安いっぱい頃だと思いますが、新入職員同士、そしてこれから一緒に働くいろいろな部署の先輩スタッフと、少しでも仲良くなってもらいたい…顔見知りをたくさん作ってもらいたい…そんな思いで毎年、歓迎お花見会を行っています！今年は天候にも恵まれ、お好み焼きや、バーベキューで盛り上がりしました。



医療法人 輝心会

 **大分循環器病院**
Oita Cardiovascular Hospital

〒870-0837 大分市太平町4組 TEL 097-544-8800(代表) ホームページ: <http://www.oita-junkanki.jp/>

